

岡崎城南 RC2011-2012 年度第 1 回予備理事会

平成 23 年 1 月 25 日（火）19 時 40 分ー 20 時 30 分

2011 年 1 月 17 日の国際ロータリー・ニュースによるとカルヤン・バネルジー現 RI 会長エレクトは 2011 年国際協議会本会議において 2011-2012 年度の RI のテーマを下記のように発表した。

「心の中を見つめよう 博愛をひろげるために」

「何かを成し遂げようと思うなら、ありとあらゆる知恵を振り絞らなければなりません。それには、まず自分自身の内側から始めるしかないのです。自らを発見し、潜在的な力を引き出し、迷わず、ひるむことなく”出でて奉仕し”、世界で博愛を広げてください。」また、「家族」が奉仕の原点となり、「良き家族が、良き隣人となり、良き地域社会を作ること」、「世界の変化を望むなら、あなた自身がその変化にならなければならない」というガンジーの言葉を引用し、「自分自身の中にこそ変化を起こすことの必要性を認識しなければならぬ」と語っている。

来る 4 月 17 日（日）には第 2760 地区協議会が開催され、地区のガバナー方針が発表される。直後の 19 日（火）に、第 1 回クラブアッセンブリーにおいて、また 7 月 5 日（火）次年度第 1 回例会においてクラブの会長方針を申し上げる予定である。

しかし、2 月 2 日に行われるロータリー財団システム管理セミナー（旧ロータリー財団委員会）において、次年度の委員長の参加が要請され、次年度の委員会構成を早期に決定する必要性が生じた。また、ロータリー財団新地区補助金「未来の夢計画」に参加申請を早急に行うためには、現理事会では承認されたものの次年度の役員・理事にもご理解の上、ご承認いただくべきものと考えた。

例年よりほぼ 1 ヶ月早く予備理事会を開催させていただくこととなった。お忙しいところご協力戴き、心より感謝申し上げたい。

ここに一つのデータ、RIの調査結果がある。2010年4月18日地区協議会第9分科会資料によれば、退会者の三大共通点は、

- ・「クラブに指導性がない」
- ・「志をもって入ったが、クラブに奉仕がない」
- ・「クラブに魅力がない」

という会員の迷いである。

リーマン・ショック以降、会員減少は世界中でみられるが、我が国の減少率はすでに10年も前から確実に段階的に認められる。

過去5年間の会員減少率は、
第1位；日本30%、
第2位；オーストラリア6%
第3位；ラテンアメリカ2%
を大きく離している

- ・クラブに真の魅力を感じる運営がなされているか
- ・本業を犠牲にして駆けつけるに足るアドバンテージが感じられる例会かどうか

年間7500人の新加入が全国で行われ、約8%の会員が年間に増加しているが、9000人の会員を失っている(9.6%減)。クラブに入った新会員を維持 Member Retention することができていないのが現状である。

クラブ・リーダーシップ・プラン CLP は、この一つの対策としてクラブの活性化のために提案されたものである。

また、RIは、ロータリーは単年制ではあるが、事業の継続性にも着目している。このために、少なくとも3-5年間継続する長期目標とその実現のための年度目標を作成することを推奨している。

予備理事会を始めるに当たって、会長エレクトとして次年度からの長期目標と年度目標の方向性をここに示す。理事会としても協議の上、承認いただきたい。

A) クラブの長期目標；

I) 地域が誇るものを発掘・支援し、「街づくり」に貢献する

(社会奉仕・新世代奉仕)

II) ミャンマー教育支援の継続

「ミャンマーにお医者さんを育てよう」

(国際奉仕)

III) ロータリーの理解を深め、楽しい例会をめざす

(クラブ奉仕・職業奉仕)

B) クラブの年度目標；

I) ロータリー財団「未来の夢計画」として、

「岡崎ふれあいコンサート」を企画（新地区補助金を申請）、
奉仕の理想「岡崎城南バージョン」を会員家族に公募し、こ
の発表の機会とする

<目的>

- ・ 高校コーラス部員とコーラスに携わる市内の小・中学生
およびロータリアンの音楽を通じた交流
- ・ 地域が誇る高校コーラス部を支援し、音楽教育レベルの高い
文化都市としてのあり方を提案し、街づくりに貢献する
- ・ ロータリー広報活動の一環として、青少年の理解を求める
- ・ ロータリアンの結束を促す

II) ミャンマー教育支援の記録を再編集する

<目的>

- ・ クラブのメンバーがこの国際奉仕を理解する
- ・ 疑問に答える
- ・ 国際ロータリーおよび第 2760 地区に奉仕の実績を示す
- ・ 国際奉仕の方針を再検討し、継続をクラブ員に確認する

Ⅲ) ロータリーの理解を深め、楽しい例会をめざす

1) 岡崎城南ロータリークラブを紹介するパンフレットを作成

<目的>

- ・新入会員を勧誘するときの資料とする
- ・ロータリアンとしてのマナーを再確認する
- ・ロータリーについて解りやすく解説できるように訓練する
- ・現在を振り返り、魅力あるクラブ運営を考える資料とする

2) 2011 年度職業分類を完成させる

<目的>

- ・地域に即した最新の職業分類を得る
- ・クラブの特色を他クラブと比較する
- ・未充填職業分類の会員増強
- ・職業奉仕を考える上で資料とする

3) 会員増強（担当；副会長）・広報（担当；クラブ奉仕委員長）

- ・ロータリー財団（担当；国際奉仕委員長）以上3委員会の懸案事項を理事会で毎回取り上げ、報告を受け、方向性を検討する

<目的>

- ・CLP が意図するクラブ活性化をめざす
- ・会員減少の危機感を常に意識し、対応する
- ・積極的な広報活動を奨励する
- ・奉仕を支えるロータリー財団の動向に備える

4) シニア・アドバイザーの設置

<目的>

- ・クラブ員の約1／4を占める出席免除会員に指導的立場・相談役をお願いする
- ・シニアにもクラブ運営に積極的に参加してもらう
- ・クラブの運営と方向性のチェック・苦言を戴き、確認する

5) 委員長のリーダーシップの強化

- ・委員長は、奉仕活動の現況を予算や収支の動向を含めて明らかにし、問題点とその対策を検討した上で、新たな独自の奉仕プロジェクトを作成する。
- ・例会では、新年度7月中（事業計画の発表）と各月1回は委員会単位の座席とする。また、自発的に委員会単位（合同）の懇親会を設け、意見を出し合い、これを報告する。
- ・卓話の選択にはプログラム委員長のみならずロータリー強化月間の各関連委員長が責任をもち、委員会卓話を設ける。

<目的>

- ・委員長が、小委員会を含め、年次目標の達成に責任をもつ。
- ・委員会単位の連携を強化することにより、奉仕プロジェクトに対する会員の意識を高める。

6) ファイアー・サイド・ミーティング Fire-Side Meeting および 趣味の会を推奨し、登録を試み、公開することで門戸を広げる

<目的>

- ・新入会員にロータリー情報を提供する場を設ける
- ・会員宅を持ち回りして、少人数で開く非公式な談話会を通して、ロータリーの初歩的な質問やクラブ運営上の疑問に思う点などを話題にすることができる
- ・同じ趣味を持つ者が集まり、趣味を通じて親睦を深める

岡崎城南ロータリークラブ 2011-2012 年度委員会構成

「理事会」

<役員>

会長 ; 桐渕利次

直前会長 ; 長野哲也

会長エレクト ; 近藤憲康

- ・「ロータリー情報委員会」; RI の長期計画を解説
(WCS プログラム廃止の経緯)

副会長 ; 中根常彦

- ・「職業分類・会員選考委員会」; 2011 年度職業分類の完成
- ・「会員増強委員会」; 会員の動向調査 (RI・地区・岡崎 4RC)
危機感の実態、入会勧誘の手順・パンフレットの作成
*RI2650 地区「ロータリークラブへお入りになりませんか？」
(参考資料を活用し、自分の言葉で作成する)

幹事 ; 山本剛司
ホームページの監修

会計 ; 足立修

- ・一般会計と 5 つの特別会計をクラブ員に解説
ニコボックスの役割
「二本立ての財政制度 (佐藤千尋)」

会場監督 SAA (Sergeant-at-Arms) ; 永田裕

- ・遅刻・早退の承認や拒否、退場勧告
私語に対する警告、無断欠席者の注意
- ・例会での講評 (最低月 1 回)
- ・欠席の場合には会長エレクト・副会長が代行

<理事>委員長は、現況を報告し、問題点を挙げ、対策に当たる
クラブ奉仕委員長；牧野正高（親睦委員長を指導）

- ・「岡崎城南 RC」パンフレット作成

*RI2650 地区「わかりやすいロータリー」、「ロータリーへようこそ」

- ・季節感のある特別例会
- ・シニア・アドバイザーの設置、例会座席の工夫

職業奉仕委員長；澤田道明

- ・2011 年度職業分類の完成（地域の特色・岡崎 4RC との比較）
- ・過去の職場例会の調査（場所と期日）

社会奉仕委員長；市川聰明

- ・現況分析（心と体を育む活動奨励・軟式野球・岡崎美術展・
市民美術展・緑の羽募金・省エネ共和国・RCC）
- ・地域が誇るものを発掘・支援し、「街づくり」に貢献（卓話）

国際奉仕委員長；松永茂夫

- ・ミャンマー教育支援の記録再編集

新世代委員長；永井量基

- ・未来の夢計画「岡崎ふれあいコンサート」
- ・ローターアクト・RYLA・理科の実験教室（岡崎 4 RC の比較）

親睦活動委員長；近藤保則

- ・「親睦委員会 Fellowship Committee は、娯楽委員会 Entertainment
Committee ではない」クラブ奉仕委員長の指示により活動する
- ・「岡崎城南 RC」パンフレット作成
親睦委員会（委員長以下、入会 3 年以内 3 名と入会 4 年目 4 名）
により、簡潔な表現でロータリー用語の解説を試みる。
クラブの構成（年齢や職業）、活動状況などを示す。
- ・季節感のある特別例会の設定（後述）
- ・ファイアー・サイド・ミーティングおよび同好会の登録・報告

直前幹事；千賀邦二

副幹事；井上武彦